# 茨城県営松代アパート

Ibaraiki  Prefecture Housing,Matushiro

Mid-rise public housing block with a skywalk encircling a courtyard

受賞：1995年度日本建築学会作品選奨

所在地：茨城県つくば市

設計：三上建築事務所＋アプル総合計画事務所

用途：集合住宅(121戸)、集会所

構造設計：花輪建築構造設計事務所

設備設計：遠藤二夫、若松宏

施工：松浦建設、折本工業、小薬建設、宮本建設

敷地面積：13138.05m2

建築面積：3,313.88m2

延べ床面積：10,341.04m2

構造規模：RC柱梁構造6階建

竣工：1992.12

写真：GAフォトグラファーズ

松代アパートは総戸数１２０戸の団地で筑波学園都市に計画されている。ここでは石岡の観点に加え、都市の建築の本質である道と建物の密接な関係を作ろうとした。モダニズムの集合住宅では住棟と道の関係が極めて希薄であり、これは片廊下と住戸の関係にも現れている。住戸の廊下は都市空間の一部である。ここでは三層の住棟を二段重ねした形式をとり、地上面の道の他に第四層に広く変化に富んだ外部通路（「上の道」）を設け、「上の道」とそれに面する住戸のレベルを変え、「上の道」にはエレベーターでも大階段ででも登れる。「上の道」はループになって、いくつかある階段室、大階段とあいまって多様な経路を住民が選択できるようにしている。残念なことは当初「上の道」全体に土を敷きつめ、雑草が生える道とんとして構想していたが、諸般の事情で実現できなかったことである。